

第3章. ソーシャルキャピタル毀損事例の収集

研究分担者 高尾 総司(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 講師)

【研究の要旨】

ソーシャルキャピタルの醸成に関する要因を検討するにあたっては、良好な事例の収集だけではなく、良好な事例と比較をするための対照、つまり毀損された事例の検討も有用であると考えられる。ただし、郵送等での質問紙調査では得られにくい情報であるので、(1)先行文献の調査、(2)研究者の知りうる範囲での事例の検索（例えば、市町村合併等に際して、活発だった組織活動が停滞もしくは解散等にいたった事例）、(3)岡山県内各市町村担当者への事例提供依頼を行った。

(1)23 編の論文がヒットしたが、16 編は関係の無い内容であり、6 編はメカニズムとしてソーシャルキャピタル（SC）の毀損について言及されるに留まった。1 編については、職場の安全文化の毀損を SC、特に信頼との関係で論じた内容であった。(2)いくつかの事例についてのヒアリングまでは実施できたものの、いずれの事例においても報告書への詳細の記述については了承が得られなかった。(3)回答しやすくなるよう、事前に研究班内でも質問文、回答様式については十分な検討を行ったが、回答は得られなかった。

SC の毀損事例を収集することは、容易ではないことが分かった。したがって、少なくとも本課題については、事例集のような「お手軽」なものから学ぶことは期待しにくい。つまり、結論としては、ソーシャルキャピタルを活用した保健活動を企画するにあたっては、自らの手でソーシャルキャピタルが失われた事例についても、相応にリサーチすることが重要であるということになる。

A.研究の目的

ソーシャルキャピタル（以下、SC）はヘルスプロモーション事業が健康や生活にもたらす効果を強化したり、事業自体を評価したりする際に活用可能な理論基盤である。しかし、SC と健康との関連についての研究成果を地域保健事業にどのように還元・活用できるのか、或いはどのように SC を醸成することができるかについての方法論が明確でない。本分担研究では、具体的な SC の活用方法を提示するために収集した良好実践事例の中でも、ソ

ーシャルキャピタルを十分に活用できなかった事例を十分に活用できた事例と比較することで、地域保健事業における活用方法および SC 醸成方法について考察してきた。

さらにソーシャルキャピタルの醸成に関する要因を検討するにあたっては、良好な事例の収集だけではなく、良好な事例と比較をするための対照、つまり毀損された事例の検討も有用であると考えられ、最終年度は毀損事例の収集を行った。ただし、郵送等での質問紙調査では得られにくい情報であるので、まず

は市町村合併等に際して、活発だった組織活動が停滞もしくは解散等にいたった事例について検索した。

B.研究方法

(1) 文献による検索

PubMedにて、検索ワードとして、"social capital" & "erosion"にて検索した(2015年4月21日時点で最終確認)。

(2) 事例にもとづく検索

市町村合併等に際して、活発だった組織活動が停滞もしくは解散等にいたった事例等について、研究代表者・分担研究者・研究協力者等の知りうる範囲で、心当たりのある担当者を経由して事例を検索した。

(3) 質問紙による調査

平成26年10月末に、岡山県市町村振興協会の協力を得て(総務担当者むけ研修会の機会を利用)岡山県内27市町村に対して総務部を経由して担当部局へ「毀損された」事例への情報提供を依頼した。

C.研究結果

(1) 23編の論文がヒットした。しかし、タイトルおよびアブストラクトを確認したところ、16編についてはSCの毀損事例とは全く関係の無い内容であった。残る7編のうち、6編については、曝露(例えば、所得格差)とアウトカム(例えば、健康)との関係に介在する考えられるメカニズムの一つとして、SCの毀損について言及されるに留まり、特にSCの毀損にかかる具体的な事例の紹介はなかった。1編については、職場の安全文化の毀損をSC、特に信頼との関係で論じた内容であり、まったく参考にならないわけではなかったが、概念的な内容であり、少なくとも現場実務の助けとしては期待に沿う内容ではなかった。

文献検索上は、有用な事例を見つけることは出来なかった。

(2) いくつかの事例についてのヒアリングまでは実施できたものの、いずれの事例においても報告書への詳細の記述については了承が得られなかった。

(3) 回答しやすくなるよう、事前に研究班内でも質問文、回答様式については十分な検討を行ったが、回答は得られなかった。

D.考察

事例の収集には取り組んでみたものの、「事例集」としてはまとめることができなかった。ヒアリングには応じてもらったものの、企業と異なり責任者が曖昧であることもあって、記録として残すことには了承が得られなかったからである。考えてみれば、理解できる面もある。例えば、市町村合併等に伴い、同名称の異なる地域の組織も合併されることになった。一方の地域では活発であったが、他方の地域ではほぼ休眠状態であったというような場合、「消滅」、「(活発な地域の水準よりも)衰退」、「活発化(良好実践事例)」という三つの結末が考えられる。消滅してしまった場合には、そもそも関係者にあたるのが難しく、衰退した場合には、活発だった地域の関係者にヒアリングをしても、合併した相手の組織の構成員に対する不満が中心となってしまうこともある。

一般的に言えば、良好実践例から学ぼうとするのが通常かもしれないが、それでもなお失敗例、つまり、SCが損なわれてしまった事例から学べることも少なくない。領域は異なるものの、日経ビジネス誌においては「敗軍の将、兵を語る」と題して、企業の不祥事や経営悪化などで引責辞任した元トップの失敗談を紹介するコーナーは、なんと30年以上に

も及び長寿企画だそうであるから、失敗例にも大きなヒントがある可能性も期待できる。

いくつかの典型的パターンがあるが、資金ショート、派閥争いの負けた、本業以外（フィランソロピー活動など）に精を出しすぎた、といったものについては保健活動における組織運営においても十分に参考になる。行政からの補助金が打ち切られるタイミングで、活動が衰退してしまうケースは少なくないだろう。キーパーソンがいるのは、組織運営上メリットも少なくないが、二人のキーパーソンが存在してしまうと、行政からの連絡窓口も、「こちらに連絡すること」といった注意書きが付される程度から、組織そのものを空中分解させてしまうこともある。

少し企業の事例とは異なるかもしれないが、保健事業でイメージする組織の場合は、「地域コミュニティ」への貢献が一定の程度で期待されている側面は否定できず、組織そのものの維持を本業、貢献を次なる目的と考えると、良い意味で一定の割合のフリーライダーを許容することも中期的には組織維持（本業）を支える要因になり得る。より具体的に言えば、「主体的に参加しないメンバー」に対して、排他的過ぎると、結局、十分に貢献できないことを自省するメンバーが離れていくことで、組織が衰退することになりかねない場合もある（短期的には貢献がないメンバーでも、許容的に受け入れておくことで、何かの折に立場が変わるようなことも、ボランティア的な組織において十分にありえる場面である。キーパーソンが何らかの理由で組織運営に貢献しがなくなったとき、それまで特に目立たなかったメンバーが窮地を救ってくれるなど）。

ソーシャルキャピタルの類型（結束型と橋渡し型）の視点からは、ソーシャ・キャピタルが衰退することが、イコール全面的に回避

すべき問題とは限らず、逆にそこにチャンスを見出すこともできる。つまり、強すぎる結束型ソーシャルキャピタルは、むしろ健康を害する側面もある（ソーシャルキャピタルのダークサイド）との指摘があり¹⁾、わが国に照らしてみても、特に強制的に集められた組織にあっては「いじめ」のような問題が発生しやすいことから容易に理解できよう。具体的に言えば、農村のような従来閉鎖的であって、比較的結束型ソーシャルキャピタルが高かったと想定される地域において、SNS（social networking service）等を活かし、関心は共有するが人種や社会階層などが異なる人間同士のつながりを強化する（橋渡し型ソーシャルキャピタルの醸成）ことで、総体としては、良いコミュニティを生み出しうる（維持しうる）ことがある（岡山県勝央町でブドウ農家を営むアリ・ソイル氏の講演に対するシンポジウム内での討議内容²⁾）。

ロバート・パットナムのBowling Alone(邦題:「孤独なボーリング-米国コミュニティの崩壊と再生」³⁾)を引用するまでもなく、多くの人の実感として、私たちの身の回りでは根源的にソーシャルキャピタルは少しずつであれ、失われていると感じる場面の方が多い。醸成よりも維持を目指すことになる場合、やはりこうした「失われた事例」との対比において学ぶべきことは多いはずである。

E. 結論

SCの毀損事例を収集することは、容易ではないことが分かった。したがって、少なくとも本課題については、事例集のような「お手軽」なものから学ぶことは期待しにくい。つまり、結論としては、ソーシャルキャピタルを活用した保健活動を企画するにあたっては、自らの手でソーシャルキャピタルが失われた

事例についても、相応にリサーチすることが重要であるということになる。

F.健康危険情報

該当なし

G.研究発表

1. 論文発表

Noguchi M, Iwase T, Suzuki E, and Takao S.
Home visits by commissioned welfare volunteers and psychological distress: a population-based study of 11,312 community-dwelling elderly people in Japan. International Journal of Geriatric Psychiatry (in press).

2. 学会発表

なし

H.知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

I.文献

- 1)イチロー・カワチ他編著．ソーシャル・キャピタルと健康，日本評論社，2008．
- 2) アリ・ソイル 氏（岡山県勝央町・ブドウ栽培者）講演．第9回岡山大学農学部公開シンポジウム（平成22年10月16日）
- 3)ロバート・パットナム、孤独なボーリングー米国コミュニティの崩壊と再生 柏書房 2006．

【企業の安全文化として】1 編

11: Rao S. Safety culture and accident analysis--a socio-management approach based on organizational safety social capital. *J Hazard Mater.* 2007 Apr 11;142(3):730-40. Epub 2006 Jun 28. PubMed PMID: 16911855.

【メカニズムとして言及】6 編

1: Burns JK. Poverty, inequality and a political economy of mental health. *Epidemiol Psychiatr Sci.* 2015 Apr;24(2):107-13. doi: 10.1017/S2045796015000086. Epub 2015 Mar 9. PubMed PMID: 25746820.

6: Kondo N. Socioeconomic disparities and health: impacts and pathways. *J Epidemiol.* 2012;22(1):2-6. Epub 2011 Dec 10. Review. PubMed PMID: 22156290; PubMed Central PMCID: PMC3798573.

7: Aida J, Kondo K, Kondo N, Watt RG, Sheiham A, Tsakos G. Income inequality, social capital and self-rated health and dental status in older Japanese. *Soc Sci Med.* 2011 Nov;73(10):1561-8. doi: 10.1016/j.socscimed.2011.09.005. Epub 2011 Sep 29. PubMed PMID: 21982631.

9: Hamada J, Takao S. Policy implications of social capital for the Japanese social security system. *Acta Med Okayama.* 2008 Oct;62(5):275-83. Review. PubMed PMID: 18985087.

14: Turner BS. The erosion of citizenship. *Br J Sociol.* 2001 Jun;52(2):189-209. PubMed PMID: 11440053.

15: Kawachi I, Kennedy BP. Income inequality and health: pathways and mechanisms. *Health Serv Res.* 1999 Apr;34(1 Pt 2):215-27. Review. PubMed PMID: 10199670; PubMed Central PMCID: PMC1088996.

【関係ないもの】16 編

2: Gebresilase YT. A qualitative study of the experience of obstetric fistula survivors in Addis Ababa, Ethiopia. *Int J Womens Health.* 2014 Dec 8;6:1033-43. doi: 10.2147/IJWH.S68382. eCollection 2014. PubMed PMID: 25525395; PubMed Central

PMCID: PMC4266262.

3: Luo Y, Chen H, Zhu Q, Peng C, Yang G, Yang Y, Zhang Y. Relationship between air pollutants and economic development of the provincial capital cities in China during the past decade. *PLoS One*. 2014 Aug 1;9(8):e104013. doi: 10.1371/journal.pone.0104013. eCollection 2014. PubMed PMID: 25083711; PubMed Central PMCID: PMC4119013.

4: Dawson H. HIV/AIDS, the erosion of social capital and the collapse of rural livelihoods in the Nkomazi district of South Africa. *Afr J AIDS Res*. 2013 Dec;12(4):185-94. doi: 10.2989/16085906.2013.863218. PubMed PMID: 25871480.

5: Heberling MT, Templeton JJ, Wu S. Green Net Regional Product for the San Luis Basin, Colorado: an economic measure of regional sustainability. *J Environ Manage*. 2012 Nov 30;111:287-97. doi: 10.1016/j.jenvman.2012.02.035. Epub 2012 Apr 6. PubMed PMID: 22483369.

8: Rattner H. [Environment, health and sustainable development]. *Cien Saude Colet*. 2009 Nov-Dec;14(6):1965-71. Portuguese. PubMed PMID: 20069163.

10: Mahdi, Shivakoti GP, Schmidt-Vogt D. Livelihood change and livelihood sustainability in the uplands of Lembang subwatershed, West Sumatra, Indonesia, in a changing natural resource management context. *Environ Manage*. 2009 Jan;43(1):84-99. doi: 10.1007/s00267-008-9142-2. Epub 2008 May 28. PubMed PMID: 18506516.

12: Diczfalusy E. Contraception and society. *Eur J Contracept Reprod Health Care*. 2002 Dec;7(4):199-209. Review. PubMed PMID: 12648291.

13: Pethe VP. Poverty eradication: a new paradigm. *Yojana*. 1998 Aug;42(8):87-90. PubMed PMID: 12294462.

16: Schoenholtz JC, Freedman AM, Halpern AL. The "legal" abuse of physicians in deaths in the United States: the erosion of ethics and morality in medicine. *Wayne Law Rev*. 1996 Spring;42(3):1505-601. PubMed PMID: 11657291.

- 17: Social Science Research Council SSRC; International Social Science Council ISSC; Development Alternatives with Women for a New Era DAWN. Policy statement on population and the environment. *Focus Gend.* 1993 Feb;1(1):22-3. PubMed PMID: 12287130.
- 18: Cleaver K, Schreiber G. Population, agriculture, and the environment in Africa. *Finance Dev.* 1992 Jun;29(2):34-5. PubMed PMID: 12285663.
- 19: Rattner H. [Trends of and prospects for sustainable development in Latin America]. *Tiers Monde.* 1992 Apr-Jun;33(130):329-38. French. PubMed PMID: 12343876.
- 20: Zheng G. China: the burden on resources and environment. *Draper Fund Rep.* 1985 Sep;(14):7-10. PubMed PMID: 12313943.
- 21: Horn JJ. The Mexican Revolution and health care or the health of the Mexican Revolution. *Int J Health Serv.* 1985;15(3):485-99. PubMed PMID: 3932229.
- 22: Abella MI. Labour migration from South and South-East Asia: some policy issues. *Int Labour Rev.* 1984 Jul-Aug;123(4):491-506. PubMed PMID: 12266362.
- 23: Bradford C, Caldwell G, Goldsmith J. The hospital capital crisis: issues for trustees. *Harv Bus Rev.* 1982 Sep-Oct;60(5):56-68. PubMed PMID: 10257405.